

# 「広島城天守閣を木造で復元しよう！」

戦後、鉄筋コンクリートで再建された現在の広島城天守閣は今年で築 62 年。鉄筋コンクリートの建物の耐用年数は 50 年から 60 年といわれていますが、広島城天守閣はすでに耐用年数を超え、近年、急速に老朽化が進んでいます。昨年は耐震診断が行われましたが、診断結果は「震度 6 強の地震で倒壊の可能性大」というものでした。

現在、広島市としては、今後の対応策として耐震改修工事、または木造復元を検討していますが、たとえ耐震改修工事を施したとしても、建物自体の寿命が延びるわけではなく、いずれは安全面を考えて解体せざるを得なくなる可能性もあります。

今から 431 年前に西国の大大名・毛利輝元公が築城した広島城は当時、大坂城に次ぐ規模を誇るものだったといわれています。昭和 20 年 8 月 6 日の原爆投下によって倒壊しましたが、戦前は国宝に指定されていました。

私たちは、広島城天守閣の木造復元を実現すべく、広島城天守閣の木造復元を希望する方々の声を広島市に届けることを目的としています。ご賛同いただける方は、ご署名のご協力をよろしくお願いいたします。

	お名前	ご住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

広島城天守閣の木造復元を実現する会（広島市文化協会内）

FAX.082-506-3062 E-mail info@hiroshima-castle.jp